

令和元年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立三瀬小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

平成31年4月18日(木)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

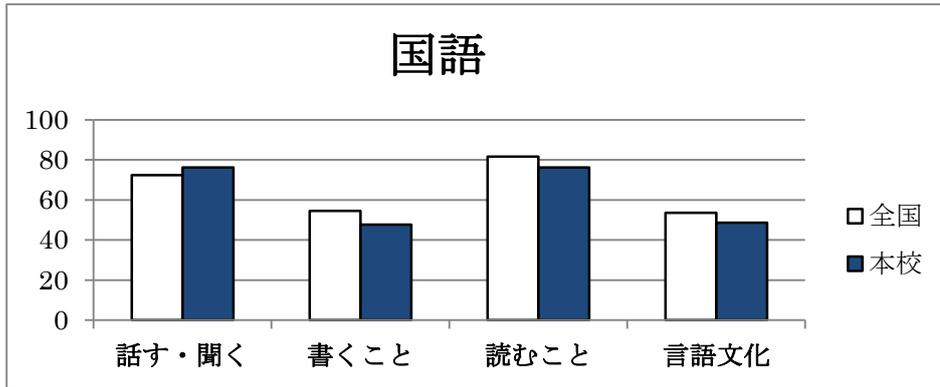
全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご欄ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語

(1) 結果

全国正答率との比較



「話す・聞く」領域の正答率は、全国平均を上回ったもののその他の領域では全国平均を下回った。

(2) 成果と課題

話す・聞く

・話し手の思いや考えに着目して心に残ったことを書く問題の正答率は、全国平均を上回った。インタビューを通して、自分の考えをまとめることはできている。しかし、インタビューで得た情報を整理し、自分の理解を確認するために質問を考える問題の正答率は低い。必要に応じて質問を考えたり、詳しく聞きたいことを挙げたりすることができるよう指導する必要がある。

書く

・報告する文章を書く問題では、図表やグラフを用いた目的を捉える問題の正答率は全国平均を上回っているものの、読み手に分かりやすく伝えるためにどのようにすればいいかを考えることができた児童は少ない。目的や意図に応じ、表現を工夫して書くことができるようにする必要がある。

読む

・疑問に思ったことを調べるために必要な情報を選択する問題の正答率は、全国平均を上回った。しかし、読み取ったことをもとに、条件に合わせて書く問題では間違いが目立った。自分の考えを明確にしながらかよ指導する必要がある。

言語文化

・漢字の読み書きは、3問中2問が全国平均を下回った。漢字の読み書き等の練習を繰り返す必要がある。

(3) 学力向上のための取り組み

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- スキルタイムでは、読み取りの問題等を行い、読解力や言語力の向上を目指しています。
- 授業では、「三瀬校学習スタイル（基本的な学習の進め方）」を使い、言語活動の充実に力を入れています。特に、自分の考えを書いたり話したりする場を多く設定し、理解する力や表現する力、コミュニケーション力の向上を目指しています。
- 地域のボランティア「ホンホンさん」による読み語り、毎朝の読書タイム、目標冊数の設定と多読者の表彰、図書館祭りなどを行い、本に親しむ児童の育成を目指しています。
- 書くことへの抵抗感を減らすため、宿題で日記を取り入れています。

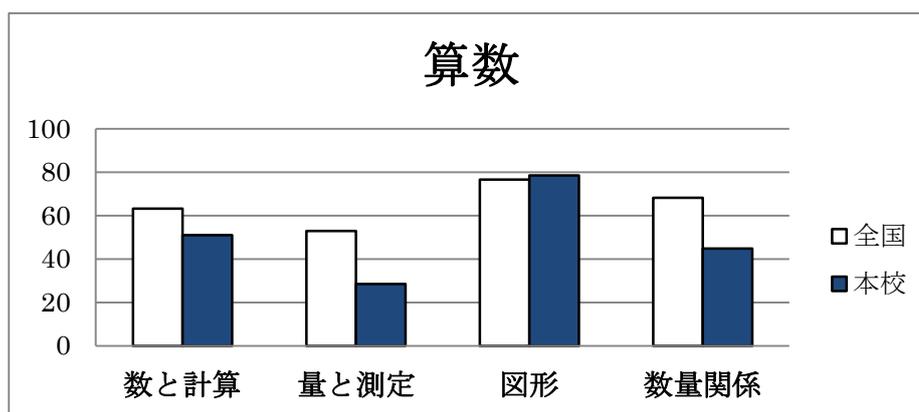
【ご家庭では】

- 音読は、言葉の意味を考えながら読むように声をかけてください。また、分からない言葉があれば、辞書を使って調べるなど自主学習にも積極的に取り組ませてください。
- 家庭での読書や新聞を読むことを習慣化させ、できるだけ文字に触れる機会を増やしてください。

2 算数

(1) 結果

全国正答率との比較



「図形」領域の正答率は、全国平均を上回ったものの他の領域の正答率は、全国平均を下回った。問題形式ごとの正答率を見てみると、選択肢から選ぶ問題が66%に対して、理由や方法を記述する問題は25%で、考えを筋道立てた適切な記述ができていない傾向が見られた。

(2) 成果と課題

数と計算

・わり算の式の意味を問う問題、たし算とかけ算が混じった小数の計算の間違いが目立った。今後は、式の意味を考えさせたり、練習をさせたりする必要がある。

量と測定

・面積を求める問題、棒グラフを読み取る問題では、全国平均を大きく下回った。求め方を説明したり、理由を記述したりすることができるよう指導する必要がある。

図形

・台形の問題の正答率は100%で、どの子も性質を理解していた。しかし、2つの合同な図形をずらしたり、回したり、裏返したりしてできる図形についての理解は十分とはいえない。角の大きさや辺の長さ等図形の構成要素に着目して、図形を判断させたり、記述させたりする必要がある。

数量関係

・日常生活の事象を数理的に捉え判断する問題として店のレジに並んだときどれくらい待たなければいけないかを考える問題が出題されたが、目的に伴って変わる2つの数量を見いだすことができていなかった。数量を直接調べにくい場合は、それと関係のあるほかの数量を使って調べることができないかを考えるようにすることが大切である。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 毎朝、全校で簡単な計算問題やかけ算九九に取り組んでいます。スキルタイムでは、計算問題のプリントやフラッシュカード等を使い、算数の基礎・基本の定着を目指します。
- 記述式問題の正答率が低いことを受け、問題を解くときは、答えだけでなく、式や図をかかせたり、いろいろな方法で解かせたりします。
- 問題に対する自分の考えを発表する場、話し合う場としてペアタイム、みんなでタイムを設定し、自分の考えを相手に分かるように話すよう指導しています。

【ご家庭では】

- 家庭学習として計算ドリルや算数プリントを出しています。また、單元ごとにテストを行っています。持ち帰るプリントやテスト、ノートには必ず目を通してください。
- 算数に興味をもつには、「習ったことが生活の中で使えて便利だな、おもしろいな」という経験をさせることが一番です。料理をする時に、重さを量ったり、買い物をする時に、割り引いた金額を考えたりするなど、算数を日常の生活に生かす工夫が大切です。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣・規範意識等について》

調査項目	本校 %	全国平均%
朝食を毎日食べていますか。	100	95.3
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	85.7	81.4
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	85.7	91.6
学校のきまりを守っていますか。	100	92.3
人が困っているときは、進んで助けていますか	100	87.9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100	97.1
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	85.7	68.0
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	42.9	54.5

「早寝・早起き・朝ごはん」については、「早寝・朝ごはん」は、全国平均を上回っているが、「早起き」は低い。規則正しい生活リズムの定着を目標とし、今後も継続して指導・啓発いくことが大切である。

規範意識については、肯定的な回答をした児童の割合は全国平均を上回った。

地域行事の参加率は、全国平均を上回っている。しかし、地域や社会をよくするためには何をすればいいかということまで考えている児童は少ない。

《家庭学習の様子》

調査項目	本校%	全国平均%
学校の授業時間以外に平日1時間以上勉強している。	85.7	66.1
学校の授業時間以外に平日30分以上読書をしている。	28.6	39.8
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	71.4	71.5

学習時間については、1時間以上勉強している児童の割合は、全国平均を上回っている。計画を立てて勉強したり、授業の予習・復習をしたりしている児童は、全国平均とほぼ同じである。30分以上読書をしている児童の割合は全国平均を下回った。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 子ども達が落ち着いた雰囲気の中で学習に集中することができる環境づくりのために、学びの基盤となる学習規律を、「三瀬校スタンダード（学習のあたりまえ）」として全校的に取り組んでいます。
- 毎月の生活のめあてに対し、毎日振り返りを行うことで意識を高めるようにします。
- 宿題は毎日、「音読」「漢字の書き取り」「プリントやドリル」を基本に出します。自主学習についても手本になる自学ノートを提示ながら定着を図ります。
- 読書の時間を増やし、多読者の表彰等を継続していきます。図書委員会による読み聞かせやイベントなどを行い、図書館利用を促し、読書習慣の定着につなげていきます。
- 生活科、総合的な学習の時間に「ふるさと学習」を行い、三瀬村の人・文化・自然への積極的な関わりを通して、三瀬村のよさに気づかせるようにしています。

【ご家庭では】

- 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムが定着するように、ご協力をお願いします。
- テレビ、ゲーム、インターネット等の使用については、ご家庭でルールを設けてください。
- 「三瀬っ子 家庭学習の手引き」をご覧になり家庭学習の目安やお勧めの学習メニューを参考に、自分で決めて学習するように励ましてください。中学校へ向けて自主学習にも取り組ませてください。